

カリキュラム区分		2カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	247	4年	前期	看護学科	選択	看護教育学 Nursing Education	15	1
担当教員								
野本 百合子	徳永 なみじ	北川 恵		森 敬子				
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
○	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
○	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
看護の対象者や看護学生、あるいは看護専門職者に対する授業や研修会を企画・実施するために必要な知識や技術を習得するために、自らが関心のある対象やテーマを選定して模擬授業を計画・実施することを通して、対象者の特性を考慮した目標達成につながる効果的な授業を計画・実施する能力を修得する。								
到達目標（授業目標）								
	① 「授業」の定義を説明できる。							
	② 「授業」を構成する3要素を説明できる。							
	③ 授業計画・授業案を作成するために考慮すべき考え方を説明できる。							
	④ 実施した授業を評価するための視点を説明できる。							
	⑤ 自らが関心のあるテーマを15分間の模擬授業の実施計画へと展開するために、教授したい内容を言語化できる。							
	⑥ 授業計画から特定した授業内容を15分間の模擬授業案として、計画を作成する。							
	⑦ 特定した看護上の問題の優先順位を決定し、その理由を記載できる。							
	⑧ 具体的な看護計画を立案し、その理由を記載できる。							
	⑨ グループで検討した「看護上の問題」、「看護計画」を他者に理解できるように発表できる。							
回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）							
1回	授業設計に必要な知識 - 「授業」の定義、授業の展開に必要な知識、看護学教育の特徴、グループ編成（野本）							
2回	授業計画立案と授業案作成、授業展開に必要な知識 - 授業計画立案と授業案作成の実際、授業展開のための知識・技術（野本）							
3回	授業計画と授業案作成の実際①〔グループワーク〕- 授業のテーマ決定、実施授業内容の検討（全員）							
4回	授業計画と授業案作成の実際②〔グループワーク〕- 詳細な実施計画案の作成・検討（全員）							

5回	授業計画と授業案作成の実際③〔グループワーク〕－模擬授業実施に向けた準備・打ち合わせ、リハーサル（全員）
6回	立案した計画に基づく授業の展開〔模擬授業の実施〕－教授者・学習者・観察者に分かれて模擬授業を実施、ビデオ撮影（全員）
7回	実施した授業の評価〔グループワーク・発表〕－ビデオを用いた模擬授業の振り返り・まとめ：効果的な授業に向けて〔全員〕
8回	看護学教育の特徴と教育制度の歴史の変遷－看護学教育の特徴、看護師養成教育の歴史と現状の課題（野本）
9回	
10回	
11回	
12回	
13回	
14回	
15回	
16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	

成績評価方法及び基準

グループワーク（30%）、課題レポート（70%）を評価する。トータル60点以上を合格とする。

教科書	特に指定せず、適宜、必要な資料を配付する
参考図書等	杉森みどり・舟島なをみ「看護教育学 第6版」(医学書院) 舟島なをみ「看護学教育における授業展開－質の高い講義・演習・実習の実現に向けて」(医学書院) マリリン H.オーマン、キャスリーン B.ゲイパーソン；舟島 なをみ監訳「看護学教育における講義・演習・実習の評価」(医学書院) 藤岡完治「看護教員のための授業設計ワークブック」(医学書院) 稲垣忠・鈴木克明編著：「教師のためのインストラクショナルデザイン－授業設計マニュアル」(北大路書房) R.M.ガニエ、W.W.ウェイジャー、K.C.ゴラス、J.M.ケラー；鈴木克明・岩崎信監訳「インストラクショナルデザインの原理」(北大路書房)

授業時間外の学習について（授業準備のための指示）

グループワークおよびその発表準備のため、授業時間外の時間を要する。

関連科目

前科目	201	看護学概論	204	生活援助技術論Ⅰ	205	生活援助技術論Ⅱ	207	看護過程	208	基礎看護学実習Ⅰ
後科目	209	基礎看護学実習Ⅱ	215	成人看護学慢性期実	218	老年看護学実習	239	在宅看護論実習	249	総合実習

実務家教員

看護師（医療機関）	野本 百合子	徳永 なみじ	北川 恵	森 敬子		

備考	
----	--